

令和7年度 第4回 角田市地域公共交通活性化協議会 会議録

1 開催日時

令和8年3月31日（火）午前10時30分から午前11時30分まで

2 開催場所

角田市役所 301 会議室

3 出席状況

委員 20 名中 18 名出席

（角田市地域公共交通活性化協議会規約第8条第2項に基づき、会議は成立）

※欠席者あり（事前連絡）、代理出席およびオンライン出席あり

4 次第

（1）協議事項

角田市地域公共交通計画（案）について

（2）その他

5 議事概要

（1）開会・あいさつ

- ・事務局は、委員の出席が過半数(18名)であることを確認し、会議が成立している旨を報告した。
- ・会長から、高齢化や人口減少を踏まえたまちづくりと連動した公共交通ネットワーク構築の必要性を踏まえて、様々な立場から意見を出し合いながら、角田市地域公共交通計画を策定したい旨の挨拶があった。

6 協議事項

（1）角田市地域公共交通計画（案）について

- ・事務局より資料 1～5 を用いながら、角田市地域公共交通計画（案）の説明があった。

【主な説明事項】

①パブリックコメントの実施内容と結果

- ・パブリックコメントの募集を2月6日(金)から2月28日(土)まで実施し、結果として寄せられた意見が無かったこと。

②第3回角田市地域公共交通活性化協議会後の修正事項

- ・第3回角田市地域公共交通活性化協議会で指摘された事項を基に、文言の追加や修正、図の追加を実施したこと。

具体的には、

- 運行概要の事業関係者について、道路運送法に則った記載に修正したこと
- 課題Bなどの「角田駅を起点とした移動利便性」について、域内交通を対象とした課題とわかる記載に修正したこと
- 課題Cなどの道の駅かくだの位置づけについて、将来的に乗り継ぎ拠点となる可能性を踏まえて、交通拠点として整備を検討することがわかる記載に修正したこと
- 課題Gなどの公共交通の利用拡大に向けた市民の役割について、単に利用するだけでなく、

運行を支える取組に参加する必要がある趣旨の記載に修正したこと

- 課題と基本方針の関係性がわかる図を追加したこと
- 施策 1 の「阿武隈急行線在り方検討会 提言」について、「阿武隈急行線地域公共交通計画」を策定する前提として取りまとめた資料だとわかる記載に修正したこと
- 施策 4 の市中心エリアの移動手段の整備イメージについて、休日と平日の移動需要にあった図に差し替えたこと
- 施策 5 の「スクールバス等の混乗」について、児童や保護者、地域住民と意見交換をしながら検討する趣旨の記載を追加したこと
- 評価指標 1 について、「阿武隈急行線地域公共交通計画」の目標値と整合した目標値を再設定したこと
- 評価指標 2～8 について、未算出であった現況値および目標値を追加したこと

(2) 委員等からの意見・コメント

- 課題 D について、効率性だけでなく利便性も向上させる趣旨の文章を記載すべきとの意見があり、事務局は修正する旨を回答した。
- 課題と基本方針の関係を示した図について、課題 D と基本方針 3 とを結びつける線を追加すべきとの意見があり、事務局は修正する旨を回答した。
- 評価指標で目標値が未設定となっている項目について、設定年度や達成年度を記載する必要があるとの意見があった。事務局は、運輸支局・運輸局とも確認を取りながら、修正する旨を回答した。
- また事務局から、市議会での指摘を受け、地域公共交通ネットワークの将来イメージ図について、現状ラビットくんが 4 エリアに分かれて運行している趣旨の文章を追記するとの報告があった。

【協議のまとめ】

本計画案が承認された。

8 その他

(1) 令和 8 年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（モビリティ人材・組織育成タイプ）への公募について

- 事務局より事業への応募内容について説明を行った後、委員から意見・コメントを募った。

【主な説明事項】

- 庁内の関係課（まちづくり推進課、都市計画課、企画デジタル課）の職員が連携しながら、「まちづくり」と連動した持続可能な交通網を構築することが事業の目的であること。
- 具体的な内容としては、公共交通・立地適正化計画・長期総合計画の関係課に所属する担当職員が、専門家や先進自治体からの講義を受けながら、各種データの分析を行い、公共交通体系の再構築を検討するものであること。
- 令和 8 年 6 月以降に事業を開始し、令和 9 年 1 月～2 月頃に、令和 9 年度の実証運行計画を事業の成果として策定予定であること。
- 事業の採択結果に関わらず、これらのプログラムを実施する予定であること。

【委員からの意見・コメント】

- 将来的には、教育分野、医療・福祉分野、商業立地等に係る分野などとの連携も視野に入れておく必要があるとの意見があり、事務局は連携対応する旨を回答した。

(2) ポケモン天文台イベント開催を受けた輸送対応について

- ・事務局より今年度開催するポケモン天文台イベントに対する輸送対応について説明を行った後、委員から意見・コメントを募った。

【主な説明事項】

- ・令和8年7月5日から9月15日まで、かくだ田園ホールにてポケモン天文台展が実施されること。
- ・来場者数としては1日あたり300~1,000人程が見込まれており、参加者を輸送する体制を整える必要があること。
- ・輸送体制としては、試験運行中の市内循環バスを毎日運行する形を想定していること。
具体的な運行想定としては以下のとおり。
車両：市内循環バスと同じスクールバス車両
本数：30分おきに1本
停留所：角田駅、かくだ田園ホール、市中心部、郷土資料館、コスモハウス、道の駅かくだ（角田駅を起終点とし、1時間で周回する）
- ・また、これに併せて本市北部を走るルートも週末のみ設定すること。
具体的な運行想定としては以下のとおり。
本数：1時間おきに1本で1日6便程度
停留所：西根田んぼアート、高蔵寺、JAXA 角田宇宙センターなど
- ・このうち市中心部を循環するバスについては、イベント終了後も毎週末の運行を想定していること。

【委員からの意見・コメント】

- ・イベント開催以降の市内循環バスは無償での運行になるのか確認があり、事務局は本年度は認可などの関係から無償で運行するものの、次年度以降は運賃有料化する方向で協議していきたい旨を回答した。
- ・自家用車で来訪者も多く見込まれることから、駐車場の有料化やホームページでの発信を始めとした交通誘導策が必要になるとの意見があり、事務局は道の駅かくだからのパークアンドライドや、阿武隈急行線と市内循環バスで周遊できることを発信する等で対応したい旨を回答した。また、委員から特設サイトを設け、公共交通情報や周遊ルートなどを発信していきたい旨の補足があった。
- ・本イベントを契機として阿武隈急行線の継続的な利用につなげる取組も必要であり、市民からも利用促進に向けたアイデアを募る必要があるとの意見があり、事務局は市内の各種団体により実行委員会を既に立ち上げており、その中でも各種取組を企画していく旨を回答した。

(3) 次年度のスケジュールについて

- ・事務局より委員の任期と次年度の予定について説明があった。

【主な説明事項】

- ・本協議会委員の任期が令和8年3月31日をもって満期を迎えること。
- ・角田市地域公共交通計画で定めた各種施策に対応するためにも、4月中にも令和8年度の第1回協議会を開催し、委嘱や事業計画、予算の議決を実施すること。

9 閉会

- ・以上をもって、本会議を終了した。